

こたえ 金のがちょう

じゅけんいりぐち
受験入口 ②

金のがちょう

(グリムのお話)

三人兄弟のすえっ子は、森で出会ったおなかをすかせたおじいさんに、自分のおべんとうを分けてあげました。

おじいさんはよろこんで、「あの木のねもとをほってごらん。」と言いました。ほってみると、金色の羽のがちょうがでてきました。

すえっ子のがちょうをかかえて歩いていると、その羽をぬこうとした人の手が、羽にくっついて、はなれくなりました。その人にさわった人も、またくっつきました。

こうして、七人も人がつながって歩くことになりました。そのおかしなすがたを見て、一度^{いちど}もわらったことのないおひめさまが、大声でわらいだしました。

① すえっ子がおじいさんにしてあげたことは何ですか。

ア 道をおしえた。

イ おべんとうを分けてあげた。
ウ 家までおくれた。

② 木のねもとから、何が出てきましたか。

金色の羽の

が
ち
よ
う

③ 人がつぎつぎとつながってしまったのは、どうしてですか。

がちょうや、くっついた人にさわると、手がくっついてはなれなくなるから。

④ つながって歩いた人は、何人でしたか。

七
人

⑤ おひめさまがわらいだしたのは、どうしてですか。

人がつながって歩くおかしなすがたを見たから。